

2020年11月5日

**味の素(株)、「食と健康の課題解決企業」実現に向けて
米国フードテックベンチャーキャピタルAgFunder Inc.および
日本ベンチャーキャピタル(株)のファンドに出資
～スタートアップとの連携によりイノベーションを加速～**

味の素株式会社(社長：西井孝明 本社：東京都中央区)は、米国ベンチャーキャピタルのAgFunder Inc. (米国カリフォルニア州、以下AgFunder)が組成したファンドおよび日本ベンチャーキャピタル株式会社(東京都、以下NVCC)が組成したファンドそれぞれに出資しました。

AgFunderは、2013年に設立され米国シリコンバレーとシンガポールを拠点とする、グローバルで成長性著しいアグリ・フードテック分野のベンチャーキャピタルです。同社は、ニュースレター(AgFunder News)と調査レポートを通じて、併せて85,000人以上の購読者を持つグローバルブランドを確立し、約30,000社のアグリ・フードテックスタートアップ情報を提供し、世界の食品、農業企業のイノベーション推進を支援しています。2019年6月に設立された「AgFunder3号ファンド」では、農業、食品のビジネス構造を変革する幅広い分野のアグリ・フードテックスタートアップに投資を行います。

NVCCは、1996年に設立され東京を拠点とする独立系ベンチャーキャピタルです。2020年9月16日に設立された「NVCC9号投資事業有限責任組合(以下NVCC9号ファンド)」では、地域や分野に制限を設けず、優れた開発力、技術力、事業性を持ち、成長ポテンシャルが高いベンチャー企業に幅広く投資を行います。投資対象は、主に、情報通信(IT)、ヘルスケア、エネルギー環境、ナノテクノロジー、素材等に関連する分野を想定しています。

当社は2020-2025中期経営計画において「食と健康の課題解決企業」を掲げており、この実現に向けた施策の一つとして、ブランドや人財・知財といった価値ある無形資産を、フードテックスタートアップ、ヘルスケアスタートアップなどと結び付けて、継続的新事業モデル創出を目指します。今回のファンド出資を通じて、国内外のスタートアップ企業との関係構築の機会を増やし、さまざまな分野のベンチャー企業との協業を推進し、「食と健康の課題解決企業」の実現に向けた歩みを着実に進めます。

AgFunder3号ファンド概要

名称： AgFunder Co-Investment Fund III
設立時期： 2019年6月(初回募集)
運用期間： 2029年6月まで(最長2年の延長あり)
主な投資対象： 農業、食品のビジネス構造を変革する幅広い分野のアグリ・フードテックスタートアップ

AgFunder Inc.会社概要

社名： AgFunder Inc.
所在地： 米国カリフォルニア州
代表者： Michael Dean, LLM、Rob Leclerc, PhD
設立時期： 2013年
事業内容： メディア&リサーチ事業、ベンチャーキャピタル事業
URL： <https://agfunder.com/>

NVCC9号ファンド概要

名称： NVCC9号投資事業有限責任組合

設立時期： 2020年9月16日

運用期間： 2030年12月まで(最長3年の延長あり)

主な投資対象：情報通信(IT)、ヘルスケア、エネルギー、環境、ナノテクノロジー、素材等に関連する分野

日本ベンチャーキャピタル(株)会社概要

社名： 日本ベンチャーキャピタル株式会社

所在地： 東京都

代表者： 代表取締役会長 奥原主一、代表取締役社長 多賀谷 実

設立時期： 1996年2月1日

事業内容： 支援型のベンチャーキャピタル事業

URL： <https://www.nvcc.co.jp/>

味の素グループは、“アミノ酸のはたらき”で食習慣や高齢化に伴う課題を解決し、人々のウェルネスを共創する、食と健康の課題解決企業を目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求し、事業を通じて地域や社会とともに新しい価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2019年度の売上高は1兆1,000億円。世界35の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります（2020年現在）。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：[Pr_media](#)